

福羽氏編述

明治七年
二月發兌

官許
文明開化真面目

登山塾藏梓

特32
171

福羽氏編

文明開化真面目

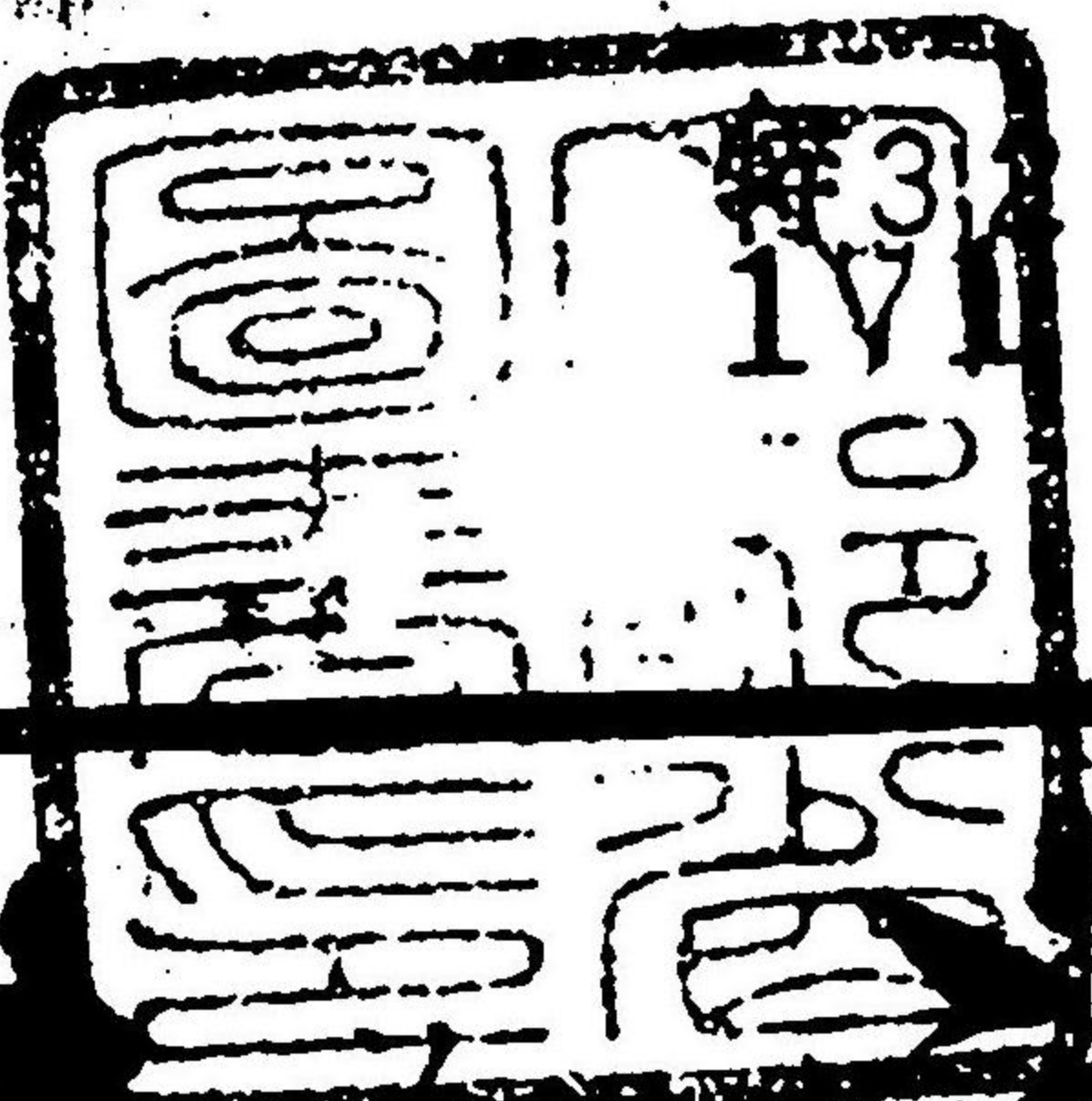
夫世界^セ各國^{カクニ}如^ク是^ニ

多^{オホク}を^ナ中^{ナカ}に^シて^ル文明^{ブン}開^{マイ}化^{コク}

開^{クワ}化^{イキ}の^{イキ}域^{イキ}を^シて^ル

文明開化真面目

一



福羽氏編

文明開化真面目

大^セ世界^{カイ}に^{クニ}國^{クニ}あり

多^ナくの^ナ中^ナに^{ブン}文明^{ブン}國^{クニ}

開^{クワ}化^カの^{イキ}域^キを^シ拓^クく

文明開化真面目

二月癸元

文明開化真面目

福羽氏編

歐羅巴亞細亞利堅
海中名高英
佛北阿朱利加合衆
國支那の制度又

物と今時世界を冠
るもの今や皇國
の人民も東洋を
至西にゆく其文明

の國クニとの南カ北イの道ミチを

皇國クニを

國クニのあはれ

ふとて皇國クニの

至情シヤウ赤心セキを

育ツグて國クニを報ハクする

の人ヒトのまはる

皇國クニを文モンにつか

人 ヒト じん じん ぶの 海 ウミ の

根 コン 本 ボン を と る ぬ ノ ー ウ ー ク ー フ

す ー テ ー キ ー ラ ー シ ー ル ぬ ネ 根 ネ の

草 クサ の 水 スイ 上 セウ ー ニ ー シ ー タ ー ル

ふ フ ー ヒ ー テ 海 ウミ の ネ ー ギ ー ト ー ヨ ー メ

き キ ー ク ー ハ ー ユ ー ヒ ー フ 風 カゼ を キ ー ク ー ハ ー ユ ー ヒ ー フ

き キ ー ク ー ハ ー ユ ー ヒ ー フ ー テ ー キ ー ク ー ハ ー ユ ー ヒ ー フ

開 カイ 化 カ の キ ー ク ー ハ ー ユ ー ヒ ー フ ー テ ー キ ー ク ー ハ ー ユ ー ヒ ー フ

物モノといふじらぬり武者ムシヤ
何ナニとてこそを敵場セキヤの
物モノとていふにやとて團クニのあ
甘ヨシのなるる所トコロとて

丈ツレとてえ花カクのあや
うらふらふらふらふらふら
柳ソモクくといふらふらソトのるアノダ
るらふらふら物モノの中ナカの

一種の靈物と智チ
覺カク自ジ体テイの靈レイ
魂コンと神カミの靈レイ
と云ふこと常々有アル行キウ

の大切タイな世界カイを復オホフ
ふ恩恵オンケイも亦モトも亦モト
と云ふ物モノといふ其ソノ
智チ覺カクをば亦モトも亦モト

くちをきくものいさを

ぐんニのまきネらの安ヤスく

しんハチ取チをさし

ぬニくニもニうニるニまニさニ何ナニ

故ユハもニうニりニぬニまニ六ヨウ知チ穢チ

のニまニのニ中ニをニとニ尊クサをニ

しニまニるニゆニ五ニヤウ智ニラフふニまニるニ

まニれニ束ソク縛カクのニ世ヨり

あいつの女のnameは
さうおもしろい程度
が、またさう
俗のからかた

妙酌心配
乃としてる人
なまじりか
くんとくの人

存ホシ分ブンのヲ盡ツクす

をシてハ太タイ政セイ復フク

古コ一イツ新シンのハニ萬マン機キの

之ヲ御ゴ創サツ業ギヨウ神シン

武ムのミ清ヨ世ヨのト

比ヒをシてハ恥ハヂぬゴ御セイ世ウシ連レン

のシ神シン武ム天テン皇ワウ八ハチ無ム

窮キウ寶ホウ祚ソのチウ中コウ典テン

習ナラふニもニしニるニまニるニ海ウミ

己ヤニのニしニるニ旅タビのニしニるニイマ

ふニらニんニごニうニすニ某ニ百ニ年ニ十ニ

年ネンをトホキおニしニてニしニるニのニしニるニ

をニもニごニうニすニるニ義ギ理リ

のニ譯ワケめニをニしニるニにニおニまニ

圃クニとニらニぬニのニしニるニ海ウミをニしニるニ

押オフ領リヨウ—天テン孫ソン正シヨウ祚ソクのニ

の忠チウ不フ忠チウをソ勵ハタラとシて

應オホのナ其ソ名ナをタ給タニ

ひ其ソ職シヨクをソ行ユひ

まシてサ單サ創ウのコ鳩ウ

業ギョウをソ行ユひカるニ是ニ

れ天テン祖ソのタ助タけニて

神カミをソ行ユひカるニ

人ヒトのカ鏡カミとシてタ行ユひカるニ

そまののののの
とらとらとらとらとら
向より大和の園
こころ衣教食物

ほろほろほろほろ
ぬののののの
侍の人の人
ららし人

の国をまもるひて大よタイ セウ
政事セイ公務コウムの勉テン
勵レイとて忍ニン耐タイれ切コウ
こころひ人皇ニシ

身タイ初シヨ試ダイひ先キのグエン
方ホウも其ソ母ヨの
民タミの安ジシまゝあるソ天テン
皇ワウよ奉ホウ道ジヤウ

やまひさく内外吉
今此へてさき尽
事なまきしれ用
為とのぬるるあ

スチ
サ
カ
カイ
クワイ
キ
カ
カ
セ
ヒヤク
ハン
カク
セイ
オク
れ一ト目この子の考
の海裁り家
の海裁り家
屋敷の百枚の

政理セイ法律リのハクあり

ありありとクニきけ

とととのれりクニ園クニ

のけえリ苗ガク字シヨの書セイ

使ツカヒ往ワウ来ライのシ支シを

日本ニホンのコク體タイと

ありありと

實ホウ作ソクのホウあり

よきことをしと又今上イマ マタ キン シヤウ

聖明セイメイの太政實理タイセイシツ

の真治世シンチセイの束縛ソクバク

の養習キウシユウをとりぬる

きんぎょあしき

我タマニ臨タマみるの自由ジユウの

権ケン各人オノノヒトの存分ホンブンを

つくりし自由立致リユウテイシ

きよの天のまを

のまをなま

物の子の母の思

はまの誰の家も

立身出せ限

はまの武を

はまのまを

代々の思

商人 愚民 智見 人 なる なる の
アキン ド ノウ ミン カク ソチ
ト キウ

くひの 君の 家より 事由 其身 樹心
イヘ エン ダン カワツ ケイ
ナニ ヲア ソン ミ

大正十三年

(111)

まことなりこころをまこと
今もあつちのまこと真昼時
とほげきりと勉厲
ひとの存分つ

今もあつちのまこと真昼時
とほげきりと勉厲
ひとの存分つ
功の恩徳の母
抱えんとておき
別し家業のな

るるるるるるるるるる
たがウ
連ふもるるるる
今上天皇の神武
のしりしりしりしり
ナラ

しん辰辰辰辰辰辰辰辰
テウ
調度中てこのまを
道と
カム
の境
カム

孝道し氣養ふ方損
未たる婦女子の志
心なく男女老少相
庶子の職業藝術事

を勉勵し思
耐奮強弱
互に自立
活計し父母

報ハウしんシんン人ヒト

益ナミハ事タカふも道ミチ

理リは行ユクハ

て各オノオノ一事イチジの祖ソ

有アん心ココロの事コトを道ミチ

志シし胆タン腸チヤウ也ヤ

しシのノ事コトをヲ

とトのノ事コトをヲ一イツ國コク

を文明開化とよ
むせの人造物
他よかりす天然
産の法品之府

縣之元満
るそを象天照
神子やまふ
名是史と心

のくちまふいふこと
もふ人のもふれ
いま早くひらかん
先このまねかき

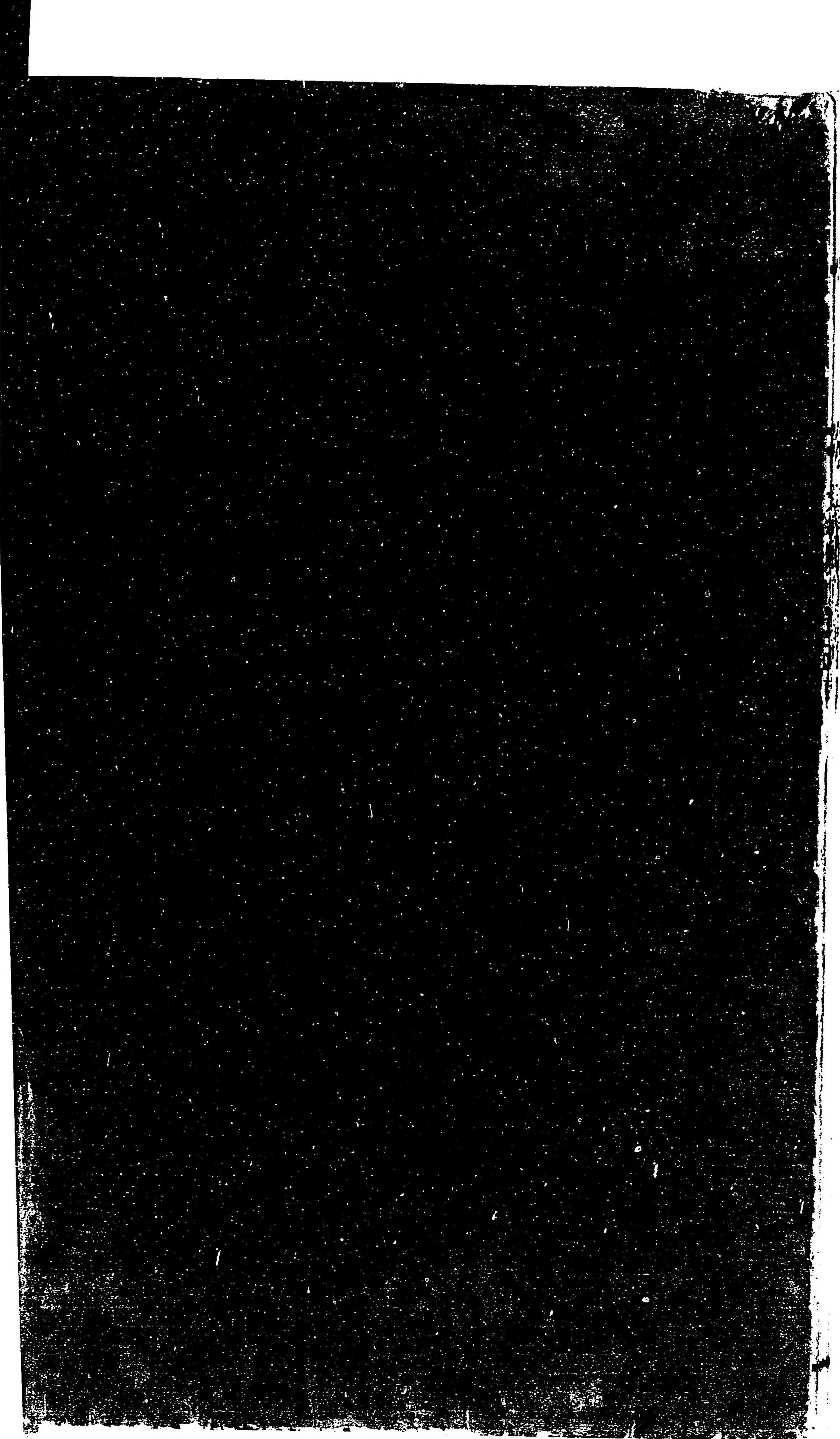
しし文明化
開の真面目と
名つひてふまふ
まふ

明治七年二月

賣弘所

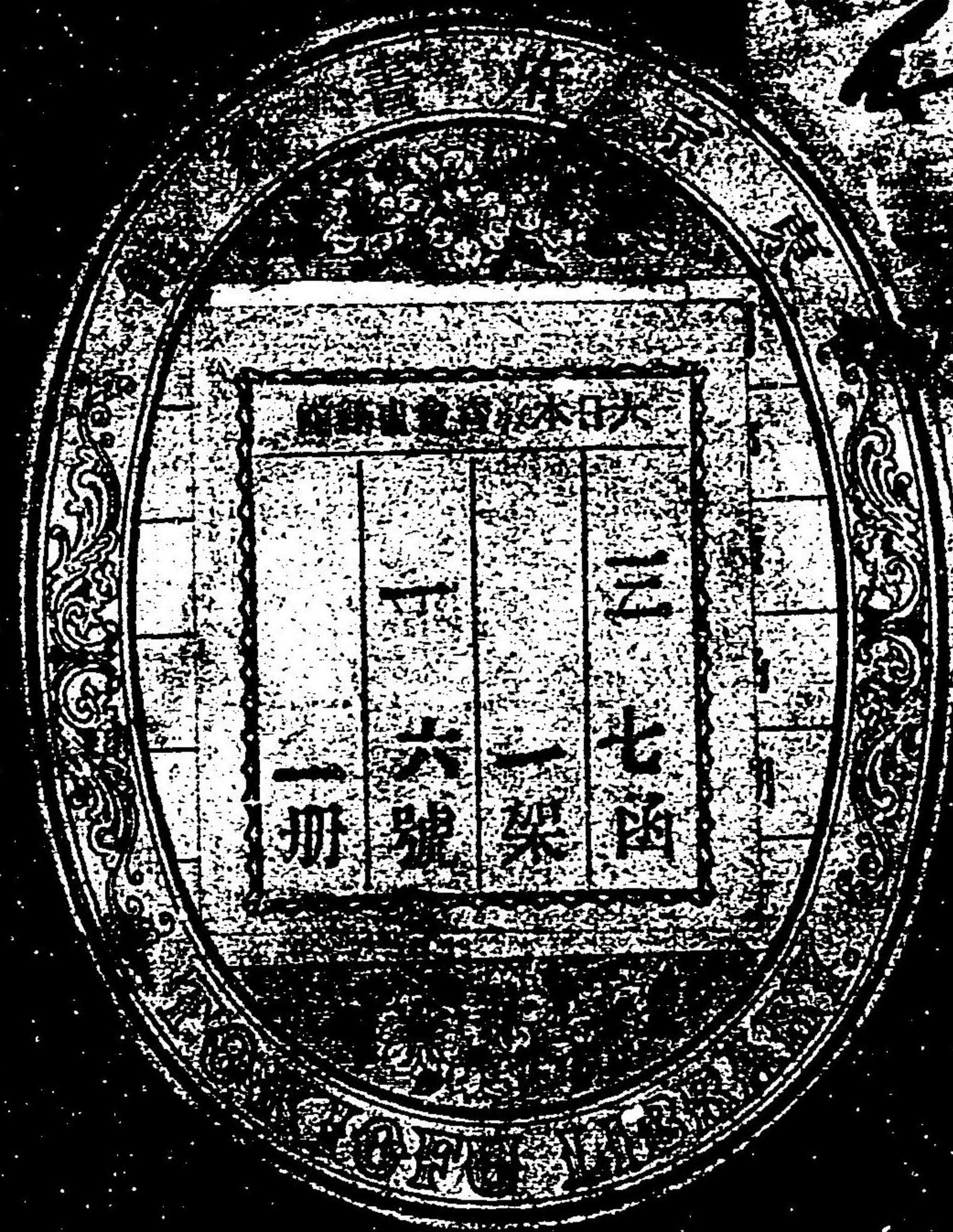
日本橋通四丁目

金花堂佐助



特32

171



039702-000-9

特32-171

文明開化真面目

福羽 美静 / 編

M7. 2

BDA-0287

